

令和8年度 音楽科第2学年 年間指導計画・評価基準・評価方法

月	題材名	時数	教材名	第1観点	第2観点	第3観点
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	曲の形式を生かして歌おう 【表現：歌唱】	3	「浜辺の歌」 「花の街」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
5	曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう 【鑑賞】	2	「交響曲第5番ハ短調」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や感想に対する評価やその根拠について考え、「交響曲第5番ハ短調」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの豊かな響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
6 7	声部の役割と全体の響きを理解して表現しよう 【表現：歌唱】	4	合唱曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
9 10	歌詞や曲想、声部の役割を生かして混声合唱を創り上げよう 【表現：歌唱】	8	合唱曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
11	曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう 【鑑賞】	2	「ボレロ」 組曲「惑星」から「火星」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性について考え、「ボレロ」と「火星」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12	ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう 【表現：器楽】	4	曲目未定	ギターの音色と奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現をするために必要な右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付けている。	音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	ギターの音色と奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
12	曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう 【鑑賞】	3	「小フーガト短調」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や感想に対する評価やその根拠について考え、「小フーガト短調」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンに関心を持ち音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
1	能の多様な表現を鑑賞しよう 【表現：鑑賞】	2	能「敦盛」キリから	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、能「敦盛」のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
2	旋律に合うリズムパターンをつくろう 【創作】	2	「リズムパターンをつくろう」	音階や言葉などの特徴について理解している。 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。	リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	音階や言葉などの特徴について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。
3	曲想を味わいながら、合わせて歌おう 【表現：歌唱】	4	合唱曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	評価方法			観察、定期考査、ワークシート、実技テスト	定期考査、ワークシート、自己評価シート	観察、ワークシート、自己評価シート